

第2学年 組 道徳学習指導案

指導者

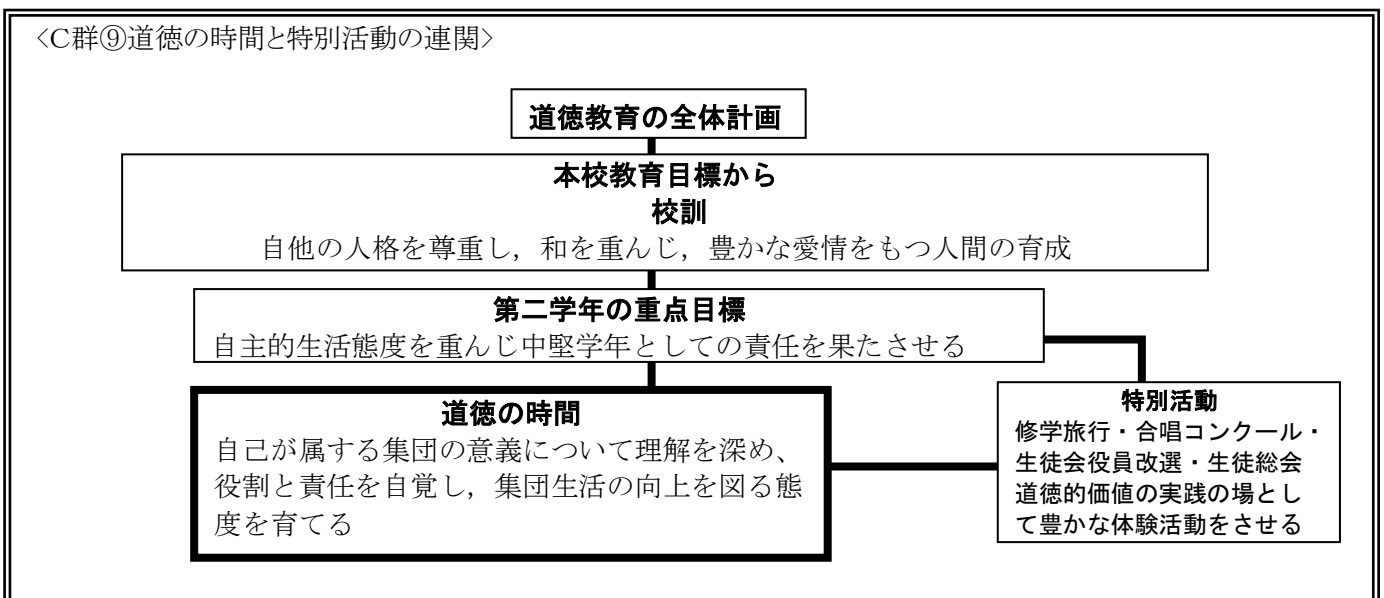
1 **主題名**「集団生活の向上」 (4-(4) 自己が属するさまざまな集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。)

2 ねらいと資料

合唱コンクールの成功に向けて奮闘する二人の主人公の姿を通して、役割と責任を自覚し、集団生活の向上を図る態度を育てる。

資料名：「おじいさんの贈り物」(福岡県教育委員会)

3 主題設定の理由



(7) 本主題は、各人がその成員としての役割と責任を自覚して、個々が責任を果たし集団の目標を達成する中で集団生活の向上を図り、自己の実現を目指すものである。人間は、一人では生きていけないものであり、さまざまな集団や社会の一員としてそれぞれ目標や立場を異にする集団に属しながら、共同で日々の生活を営んでいる。人が、集団の一員としてよりよく生きていくためには、自分の属する集団の意義を十分に理解することが大切である。本時では集団の意義を考えさせ、自分自身が自覚と責任を果たしているかについて深く考えさせたい。

(イ) 本学級の生徒は、元気がよく活発で、係活動や当番活動などに意欲的に取り組むことができている。学習においても、積極的に発表したり、意欲的に課題に取り組んだり、前向きな姿勢で臨んでいる。修学旅行では、クラスの地道な支援により不登校気味の生徒が参加することができており、助け合う気持ちを持っている生徒が多い。ただその一方で、体育祭や合唱コンクールのような学校行事の場面において、集団の一員としての所属感や一体感を求めるあまり、周囲の状況判断ができず、自己の思い込みを先行する傾向もある。また、集団の規律を守ることは大切であるということは理解できても、自己中心的な発言や行動をとることも少なくない。

このような生徒に、集団生活の向上のために、生徒一人一人が自らの役割と責任を果たすという自覚の必要性を考えさせる本主題は、大変意義深いと考える。

- (ウ) 吉田君は合唱コンクールの練習を頑張っているつもりでいるが、自覚や責任がある態度とはいえ、ない現状があった。そんな中、実行委員の山本さんが頑張れば頑張るほど、吉田君はやる気をなくし反発していく。ある日、合唱の練習を舞鶴公園ですることになり、笠井さんというおじいさんと出会った。練習の様子を見ていた笠井さんは山本さんの姿を心配していた。後日送られた笠井さんの手紙とビデオで、学級集団の意義や、役割と責任について考えることとなる内容である。

そこで、本時指導では、まず導入でこれまでの学校行事のビデオを見てその時の出来事や気持ちを振り返る時間を持ち、嬉しかったことやつらかったことを想起させたい。今回の資料を紹介する。このことでねらいとする価値への方向付けを行う。次に展開前段では、資料を通し吉田君と山本さんの気持ちを考えていく。ビデオや手紙を見る前と後で対比するよう板書を工夫することで、視覚的に心の変化をとらえられるようにしたい。そして展開後段では、今までの行事での自分を振り返り、これからを考えることで本時のねらいとする価値の一般化を図る。終末では、集団生活を向上させていこうという意欲を高めるために、役割と責任を果たすことが大切さを実感した教師の説話を行う。

4 準備

ビデオ（体育祭、合唱コンクールの映像） 資料 板書用短冊 道徳ノート

5 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入	1 本時の方向性をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">集団生活において大切なことを考えよう。</div>	○ 学校行事に取り組んだ時の達成感やうまくいかなかったことを学校行事のビデオを見ることで、想起させる。	○ビデオから学校行事での自分や周りの様子を振り返る。 (発言・つぶやき)

展 開 前 段	<p>2 資料「おじいさんの贈り物」を読み、吉田君と山本さんの気持ちについて考える。</p> <p>(1) 教師の範読を聞く。</p> <p>(2) 手紙とビデオを見る前の吉田君と山本さんの気持ちを考える。</p>	<p>○ 最初の二つの発問で二人は役割と責任を果たしているか考えさせる。</p>	<p>○ 範読を聞き、話の内容をとらえている。 (発言・つぶやき)</p>	
	<p>手紙やビデオを見る前、吉田君と山本さんはどんな気持ちで練習に取り組んでいましたか。</p>			<p>○ 自分なりに頑張っている吉田君と、実行委員として奮闘する山本さんの気持ちをとらえている。(発言・道徳ノート)</p>
	<p>吉田君</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山本さんがうるさい。 ・自分なりに頑張っている。 <p>山本さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしても優勝したい。 ・皆を頑張らせた。 ・頑張らない人が腹立たしい。 ・役割を果たしたい <p>(3) どんな気持ちで、吉田君と山本さんは手紙やビデオを見たか考える。</p>			<p>○ 手紙やビデオで自分たちの姿を見て、反省している吉田君と山本さんの気持ちをとらえている。(発言・道徳ノート)</p>
	<p>どんな気持ちで、吉田君と山本さんは手紙やビデオを見たと思いますか。</p>			
	<p>吉田君</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がふざけていることを知った。 ・恥ずかしい ・山本さんに申し訳ない。 <p>山本さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独りよがりになっていた。 ・恥ずかしい ・皆に思いを強制していた。 <p>(4) 切り返しの発問として何が足りなかったのかを考える。</p>	<p>○ 責任をもって役割を果たしている山本さんであるが、なぜ反省しているのか考えさせる。</p>	<p>○ それぞれに足りなかった気持ちをとらえさせる。(発言・道徳ノート)</p>	
	<p>二人に足りなかったのは何だろう。</p>			
	<p>吉田君</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任と役割 お互いの理解 厳しさ <p>山本さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの理解 優しさ 思いやり 	<p>○ 切り返しの発問から、集団生活の向上においては責任や役割を果たすだけでなく、互いの立場になって考え、時には厳しさが必要だが、思いやりや優しさが必要であることを気付かせる。</p>		

展開後段	<p>3 日常の自分を振り返る。</p> <p>①・自分はどの立場の人に近いか考える。</p> <p>②・学校行事でうまくいった経験やうまくいかなかった経験を考える。</p>	<p>○ 事前のアンケートや練習風景のビデオなどから日頃の自分たちを振り返らせ、自分と友達の考えや経験を比較させながら、自分(達)の課題としてとらえさせる。</p>	<p>○ 日常生活の中での自分の生活を振り返っている。(発言・つぶやき)</p>
終末	<p>4 教師の話聞く。</p>	<p>○ 教師の中学校時代の話を使ったり、生徒の感想を使って、今後の生活への意欲付けを図る。</p>	<p>○ 本時でねらいとしている価値について、今後の生活の中に生かそうと意欲を持っている。(表情・つぶやき)</p>

6 板書計画

